

第 5 学年 1 組 体育科学習指導案

1 単元名 バスケットボール（ボール運動）

2 運動の特性

- (1) 般的特性
- バスケットボールの特性は、投げる、受ける、蹴る、止める、運ぶといったボール動作や、個人やチームの運動能力に応じた作戦を立て、集団や個人で勝敗を競うことのできる運動である。

(2)児童からみた特性

バスケットボールの楽しさや喜びを感じる要因	バスケットボールを遠ざける要因
・シュートがきれいに決まったとき ・試合に勝ったとき ・ドリブルで相手を抜いたとき	・攻守の入れ替わりが激しく運動量が多いとき ・ボール操作がうまくできないとき ・どこに動けばいいかわからないとき ・パスが回ってこないとき

3 児童の実態

- (1) 技能
- 第 4 学年でゴール型ゲーム（リングゲーム）の学習をしているが、シュート、パス、ドリブルといった基本動作を習得できている児童は少ない。また、ボールを受けるための動きができていない児童も少ない。
- (2) 態度
- 本学級の児童は、休み時間にバスケットボールでよく遊んでいて、バスケットボール大会に向けて意識が高い。一方で苦手ややらない子も多い。しかし体育の授業は意欲的に取り組んでいて、前単元のマット運動では用具の準備や片付けにも積極的で、ルールやマナーを守り、友達と助け合いながら学習する姿が見られた。
- (3) 思考・判断
- 第 4 学年時のゴール型ゲームでは、簡単な作戦を立てることができていた。しかし、それが自チームの特徴に合った作戦であるのかという判断ができていない児童は少なかった。

4 教師の指導観

- (1) 技能
- シュート、パス、ドリブルの学習では数値化して、技能の伸びが分かるようにする。単元中盤のゲームはフリーゾーンを設置したり、数的優位な状況を作った簡易化したゲームを行う。フリーゾーンの設置により、誰でも邪魔なくシュートが打てるようし、「できた」感覚を味わえるようにする。また、数的優位な状況をつくることでボールをもらえるスペースを見つける力を身に付けられるようにする。ボールを受けるための動きは、ゲーム中で出てきた手本になる動きをゲームのインターバルや、授業のまとめの場面で紹介する。
- (2) 態度
- 1 時間目に用具の準備、片付けについての確認とルールについての説明をするが、ルールについては単元を通してその都度説明をし、児童にルールを守ることでみんなが楽しく学習できるという意識が定着するようにする。単元後半のゲームでは、話し合いの時間を設け、助け合いながら学習することでチームスポーツのよさを味わうことができるようにする。
- (3) 思考・判断
- ゲームの中で見られたよい動きをチームごとに確認させ、そこから自チームの特徴、更にその特徴に合った作戦を考えるようにする。作戦はチームごとに学習カードに記入し、指導者は各チームの作戦を把握しておき、各チームの作戦に沿ったフィードバックをする。またゲーム時、審判を児童に行わせることでゲームの進め方、ルールについて理解を深めるようにする。

5 単元の目標

- (1) パス・ドリブル・シュートといったボール操作や、ボールを受けることのできる場所に動いたりして、攻守入り混じったゲームができるようにする。（技能）
- (2) 自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができるようにする。（思考・判断）
- (3) ボール運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、用具の準備・片付けを進んで行い、ルールを守り助け合って運動に積極的に取り組むようにする。（関心・意欲・態度）

6 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能
単元の評価規準	・ボール運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで取り組むとともに、ルールを守り助け合って運動をしようしたり、用具の準備・片付けを進んで行おうとしたりしている。	・自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。	・ゴール型、ネット型、ベースボール型について、簡易化されたゲームで攻防するためのボール動作やボールを持たないときの動きを身に付けている。
学習活動に即した評価規準	①集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、バスケットボールに意欲的に取り組んでいる。 ②ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ③用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。 ④運動する場を整理したり用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。	①ゲームの行い方を知るとともに、ゲームを行うためのルールを理解している。 ②チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームに合った作戦を立てている。	①ゲームで攻守が入り混じった攻防をするためのボール操作（パス・シュート・ドリブル）ができる。 ②ボールを受けるための動きができる。

7 単元の計画

時	1	2	③	4	5	6	7	8	9	10
ねらい	○バスケットボールの学習の見通しを持つ。	○ルールを覚え、基本的なボール操作を身につけよう。	○ボールをもらえる場所を見つけてゲームを楽しもう。	○フリーの味方にパスをつないで、ゲームを楽しもう。	○自分のチームに合った作戦を立てよう。					
指導の内容	・学習の進め方 ・準備、約束事の確認 ・ルール説明	・ルール説明 ・基本的なパス、ドリブル、シュート	・パス、ドリブル、シュート ・スペースの活用 ・「観る」こと	・コートを使い方 ・有効なボールキープ ・シュート ・個人と集団の攻防	・流れの中のシュート ・作戦の立て方 ・個人と集団の攻防					
学習過程	1 集合、整列、挨拶をする。 2 準備運動をする。 3 用具の準備と約束事の確認をする。 4 バスケットボールの学習内容と本時のねらいを確認する。 5 バスケットボールのルール説明をする。 ・トラベリング ・ダブルドリブル ・ボールアウト ・ファウル 6 試しのゲームをする。	3 前時のルール説明の復習をする。 ・点数の増え方 ・トラベリング ・ダブルドリブル ・ファウル ・人数 ・交代の仕方 4 パス、ドリブル、シュートの練習をする。 ＜ドリブル＞ ・ドリブルリレー ＜シュート＞ ・シュートゲーム 5 ゲーム ・オールコート ・4対4	3 パス、ドリブル、シュートの練習をする。 ＜パス＞ ・パスゲーム ・チェストパス ・バウンドパス ＜ドリブル＞ ・ドリブル鬼ごっこ ＜シュート＞ ・シュートゲーム 4 簡易ゲームをする。 ・オールコート ・安全ゾーンを設置	3 シュート、パス&シュート練習をする。 ・フリースロー ・斜め45度 ・パスを受けてからシュート 4 簡易ゲームをする。 ・ハーフコート ・3 on 2 ・5 on 3 ・攻守交代制	3 シュート、パス&シュート練習をする。 ・パスを受けてからシュート ・パス&ドリブル&シュート 4 ゲームをする。 ・オールコート ・5 on 5 ・作戦タイム					
評価の計画	関	④		①		③		②		
	思				①				②	②
	技		①			②		②		①
	去方	観察	観察	観察	ビデオ・観察・学習カード					
面場		6	4 5	5	4	4	4	4	4	3 4

8 本時の学習と指導（3／10時）

(1) ねらい 仲間と協力してバスケットボールを楽しもう。【関心・意欲・態度】

(2) 準備 バスケットボール ビブス4色 黒板 太鼓 ホイッスル 得点板3つ 電子ホイッスル2個

(3) 本時の展開

段階	学習活動・内容	指導上の留意点 (○指導内容、◆評価観点)
導入 4分	1. 集合、整列、挨拶をする。 ・素早く集まり、礼を揃えること 2. 準備運動をする。	○静かに集合、整列するようにする。 ○特に指、手首のストレッチを入念に行うようにする。
展開 35分	3. 前時の振り返り、本時のねらいの確認をする。(2分) 仲間と協力してバスケットボールを楽しもう。 4. シュート練習をする。(9分) ・各チーム1つのゴールにつき、全員で、打つ位置関係なくシュートを1分間打つ。これを2回行う。 ・シュートを決めた人が必ず得点板を1つめくりに行くこと。 ・4回目はゴール正面から3m程離れたラインに並び、一人ずつ教師の笛でシュートすること。得点はチームごと覚えておくこと。これを2回行う。 5. 試合をする。(24分) ・オールコート、4対4、前後半3分計6分の試合を3回行う ・各コート2人ずつ審判、1、2人で得点板をすること ・前時、本時で習ったシュートを使うようにすること ・前半と後半のメンバーチェンジ、試合と試合の間の移動を速くすること ・試合順を見て行動すること ・次に出るメンバーを確認しておくこと ・前後半でコートチェンジをすること	○前時のシュートについて振り返るようにする。 ○集団での協力の大切を伝えるようにする。 ○1回毎一番得点できていたチームを賞賛する。 ○シュートを打つ順番を守るようにする。 ○2回目が終わったところで児童をその場に座らせ、左右の手の力を均等にすればボールが真っすぐ飛ぶことが分かるようにする。 ○ボールを静かにしまうようにする。 ○間の移動、整列を素早くするようにする。 ○デジタイマーを見て時間を守るようにする。 ○試合を見ている児童は応援をするようにする。 ○本時で習ったシュートを試合で使うように試合前、中に声かけをするようにする。 ◆集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、バスケットボールに意欲的に取り組んでいる。(関心・意欲・態度①)
整理 6分	6.整理運動をする。 ・ゆったりと体全体をほぐすこと 7.本時のまとめをする。 ・ねらいに沿った振り返りをし、次時予告を聞くこと 8. 次時予告、挨拶、後片付けをする。 ・静かにし、礼を揃えること ・後片付けをすること	○特に手首、指、腕のストレッチを入念に行うようにする。 ○前時、本時で習ったシュートが使えていた児童を賞賛するようにする。 ○チームの協力があったからこそシュートが打てたということに気づくようにする。 ○次時の内容を簡潔にわかりやすく伝える。 ○次回の当番を伝えておく。